

コンピュータミュージックI

専門 情報メディア学科 1年 後期 2単位 講義 選択

吉田 友敬

概要 音楽制作ソフトMusic Creatorを使って、楽譜をもとにMIDIの打ち込みを行います。楽器ができなくても、マウスで入力するだけでフルオーケストラの曲の制作も可能です。本科目では、コンピュータミュージックの入門・初歩として、主に譜面ウィンドウでの作業を行います。

達成目標

1. 音楽制作ソフトの扱いに慣れる。
2. MIDIの基礎知識を習得する (MIDI検定推奨)
3. 楽譜をもとに音楽データを制作できるようになる。

教授計画

第1週	コンピュータミュージック入門：ガイダンス、音符の長さ、ソフトの紹介、著作権の注意、授業に準備するもの、譜面ウィンドウの使い方。
第2週	体験！Music Creator：用意された伴奏パターンに、ソロパートを自由に作曲して打ち込んでみる。ピアノロールウィンドウを使ってみる。
第3週	打ち込み1曲目(1)：ファイルの初期設定。メロディパートの打ち込み。音符の長さの計算。タイでつながった音符の入力方法。
第4週	打ち込み1曲目(2)：ピアノパートの打ち込み。コピー＆ペーストの活用。シャープやフラットの入力。余裕のある人は、もう1曲打ち込む。
第5週	打ち込み2曲目(1)：メロディとピアノの打ち込み。1曲目の知識を使って、打ち込みに慣れよう。ペダル(サスティン)の使い方。
第6週	打ち込み2曲目(2)：ギターパートとオルガンパートの打ち込み。ピッチバンドでチョーキングの感じを出そう。リタルダンドの作り方。
第7週	打ち込み2曲目(3)：ベースとドラムパートの打ち込み。ベロシティに変化をつけて自然なドラムらしくする。ピアノロールビューに慣れよう。
第8週	ギターの作り込み講座(1)：ギターのカッティングと、チョーキング奏法をMIDIでどう打ち込むか、学びます。
第9週	ギターの作り込み講座(2)：ハンマリング、プリング、ビブラートなど、ギター特有の奏法をどうやって打ち込むか、テクニックを紹介。
第10週	ストリングスとブラスの打ち込み講座：ストリングスの柔らかい感じ、ブラスのかっこいい感じを出すための作り込み。Expressionを使いこなそう。
第11週	期末課題の制作(1)：各自で自由に選んだ曲の楽譜を用意して打ち込みを行う。のべ100小節以上の打ち込みが必須。ピアノ譜、オルガン譜、バンドスコア、ブラスバンド、オーケストラ譜など。
第12週	期末課題の制作(2)：
第13週	期末課題の制作(3)：
第14週	期末課題の制作(4)：
第15週	期末課題の発表会：提出された作品のうち、優秀なものを選んで、発表する。曲の紹介、制作上苦労した点などをコメントする。

評価方法

授業への参加と平常の課題提出、および期末課題の作品によって評価します。
出席が規定回数に満たない場合は単位の取得資格喪失となります。
期末課題の提出がない場合は試験に欠席の扱いとなります。

授業方法・受講上の注意

- ※ 実習は連続しているので、毎回の出席が必要です。欠席した分は自己責任で補うことになります。
- ※ 授業へは、必ず各自でヘッドフォンまたはイヤフォン(ステレオ)を持参すること。
- ※ 受講希望者が定員を超えた場合は抽選等で選抜を行います。掲示・メールに注意してください。

テキスト

特になし。プリントを配布します。

参考図書など

随時紹介します。